

校長講話

10月13日〈水〉

おはようございます。

戸隠中学校では毎年、夏休みに「理科の一研究」という宿題が1, 2年生に出ます。今年の研究に「流水性昆虫の泳ぐ速さの特長及びカブトムシを速く泳がすには？」という、研究がありました。その研究が県の科学展で「優良賞」となりました。2年連続での受賞です。

2年 柏木和樹君、立ってください。「おめでとうございます。」（生徒：自然に拍手）

10月13日に長野市中学校音楽会がありました。戸隠中学校は33名という、少ない人数にもかかわらず、男女の美しいハーモニーをホクト文化会館に響かせてくれました。音楽の専門家である、裾花中学校の小池校長先生からも、「なかなかの発表だった。」とお褒めのお言葉をいただきました。

3年生の皆さん、立ってください。「ご苦労様でした。」（生徒：自然に拍手）

昨日、本校で教育課程研究協議会が行われ、100名を超える英語の先生方が集まり、2年生の授業を見ました。「授業に意欲的に取り組む姿が素晴らしい。」「男女が仲良く、明るく、だれとでも学習しあえる人間関係がある。」等、たくさんのお褒めの言葉をいただきました。戸隠中学校の素晴らしさを長野市中に広げてくれました。

2年生の皆さん、立ってください。「お疲れ様でした。」（生徒：自然に拍手）

始めに、戸隠中の3つの素晴らしい姿を紹介させていただきました。

さて、皆さん、紫峰祭を思い出してみてください。紫峰祭の中にも素晴らしい君たちの姿がたくさんありました。中でも、特に私の記憶に残っているのは、3年生の姿であります。全校の先頭に立ち、さまざまな場面で陰から支え、紫峰祭を作り上げてくれた姿。音楽会での歌声は1, 2年生があこがれる、最高学年として誇れる歌声でした。

そして、最も印象的だったのは、運動会での姿でありました。情け容赦なく、他学年を引きずった綱引き。男子が少ないのにどこからあのパワーが生まれてきたのでしょうか。種目開始前、全員が肩を組んだ円陣で気合を入れる。一人ひとりの必死の走り。自分が走っているかのように、必死に仲間を応援する姿。ゴールしたアンカーの所へ猛ダッシュで駆け寄り、飛び跳ねながら一体となって勝利の雄叫びを上げる。まとまったクラスの姿をたくさん見せてもらいました。

そんな3年生も、1, 2年の頃はそうではありませんでした。歌声ははるかにか細く、自信のないものでした。綱引きでは一気に引きずられ、昨年は1年生にも負けて総合最下位でした。また、クラスの中では人間関係のトラブルがあつたりもしました。そんな中で、一人ひとりが真剣に自分を振り返り、仲間のことを考え、クラスのまとまりを願って取り組んできた成果が実を結び、紫峰祭のあの姿を生んだのだと私は確信しております。

11月から、人権強調月間が始まります。月間の中で、改めて自分たちのクラスについて振り返ってみてはどうでしょうか。1年生は来年入ってくる新入生が「まとまっているなあ。」と感心するクラスに、2年生は生徒会を中心にあらゆる場面で1, 2年生があこがれるクラスに、そして、3年生は一人ひとりの進路実現に向けて支え合い、卒業後の同級会には皆が行きたいと思えるクラスに成長することをめざして取り組んでみてください。これで、校長講話を終わりにします。